

用語集

用語解説		説明
あ	アクアネット大阪	大阪広域水道企業団と市町村水道の送水運用情報や水質情報、事故災害時における緊急メッセージの送受信などを行うことができる情報ネットワークのこと。
	アセットマネジメント	施設・管路などの現有資産の状態・健全度及び中長期の更新事業と財政見通しを分析評価することにより、資産を効率よく管理・運用すること。
	あんしん給水栓	本市の水道水の受水先である、大阪広域水道企業団の送水管を利用し給水活動を行うための給水栓のこと。市内8カ所に設置されている。
	一日平均給水量	年間の給水量を一日当たりの平均値にしたもののこと。
か	管路管理システム	本市水道事業が保有する配水管等の管路の情報を、効率的に一元管理するシステムのこと。
	企業債	施設・管路の整備や改良などの費用（建設改良費等）の財源として借り入れる借入金のこと。
	企業団水	大阪広域水道企業団が浄水処理し、本市が受水する水道水のこと。
	給水管	給水装置および給水装置より下流の受水槽以下の給水設備を含めた水道用の管のこと。
	給水人口	給水区域内に居住し、給水を受けている人口のこと。
	給水量	給水区域に対して水道水を供給した水量のこと。
	緊急遮断弁	地震等の要因で管路の破裂等の異常が発生した時に、配水池からの水道水の流出を防ぐため、自動的に閉止する機能を持った弁（バルブ）のこと。
	緊急連絡管	災害などの緊急時に近隣自治体との間で、水を相互融通できるように設置した配水管のこと。
	経常利益	営業利益から営業外損益を加減した残余のこと。
	減価償却	長期間にわたって使用できる固定資産の取得に要した支出を、取得資産の耐用年数に基づき、費用計上していく会計処理のこと。
	検針	使用水量を算定するために水道メーターの指示値を確認すること。
	原水	浄水処理する前の水のこと。

用語解説		説明
か	工事負担金	開発行為を行う者や他企業などから依頼を受けて、当該事業の水道施設工事を行う場合に、工事に係る費用相当を負担金として給付してもらうこと。
	高度浄水処理	通常の浄水処理では十分に対応できない物質の処理を目的として、通常の浄水処理に追加して実施する処理のこと。代表的な高度浄水処理の方法としては、オゾン処理法、活性炭処理法等がある。
	国庫補助金	特定の施策に対して、国が地方公共団体に財政支援するため、交付する資金のこと。
さ	残留塩素	水道水の安全のために注入した塩素が、消毒効果をもったまま水道水に残留したもの。水道法により給水栓における遊離残留塩素濃度を 0.1mg/l （結合残留塩素の場合は、 0.4mg/l ）以上を保持することが義務づけられている。
	施設利用率	一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適性規模を判断する指標のこと。数値が高いほど効率的とされる。
	資本的収支	主として将来の経営活動に備えて行う施設等の建設改良費及び企業債償還による支出と、国庫補助金や工事負担金などの建設改良費等に充てる収入のこと。
	収益的収支	企業の経営活動に伴って発生する収入とこれに対応する支出のこと。
	集中監視制御設備	本市では、施設を効率的かつ適正に運用するため、市庁舎7階にて24時間365日、配水ポンプ、配水池、水質などを一元的に制御・管理する設備のこと。
	浄水	河川水や地下水等の原水を水道水に浄化すること。
	小規模貯水槽水道	水道事業の用に供する水道または専用水道から供給を受ける水のみを水源とする小規模受水槽（受水槽の容量が 10m^3 以下）を有する施設のこと。
	水質監視局	水道水が厚生労働省の定める水質基準に適合し、安全であることを確認するため市内5カ所の末端給水栓に設置している監視装置のこと。
	水質検査計画	需要者に供給している水が国の定める基準に適合し、安全で良質な水であることを確認するために毎年策定する計画のこと。
	水道料金収入	給水契約に基づき、使用水量から算定した水道料金の収入のこと。
	送水管	浄水場で処理された水道水を配水池等まで送る管路のこと。

用語解説		説明
さ	損益勘定留保資金	収益的収支における現金の支出を伴わない減価償却費や資産減耗費などで費用化され、将来の投資のために、企業内部に留保される資金のこと。
た	ダウンサイジング	費用の削減や効率化を目的として、モノのサイズを小さくし、用いること。
	単年度損益	単年度に発生した、資本の元入あるいは引出以外の企業の経済活動の結果として、生じた正味財産高の増加または減少のこと。
	長期前受金戻入	償却資産取得の財源となった国庫補助金や、工事負担金などについて減価償却に見合った額として収益化する会計処理上の収益のこと。
な	内部留保資金	資本的収支の補てん財源のひとつで、損益勘定留保資金及び未処分利益剰余金の総称のこと。
は	配水	配水場において製造された浄水を、水圧、水量、水質を担保して安全かつ円滑に需要者へ輸送すること。
	配水支管	本市では、口径150mm以下で市が所有している水道管でかつお客様が給水を受けるための給水管分岐が可能なもの。
	配水本管	主要な水道管で、主として配水支管へ浄水を輸送する役割を果たす。
	ペイジー口座登録サービス	市役所窓口に設置する専用端末に金融機関のキャッシュカードを読み取らせ、暗証番号を入力するだけで口座振替登録が完了するサービスのこと。
	防災プラネット	本市において、被害状況の掌握並びに災害発生に伴う災害予防対策及び災害応急対策等を迅速かつ確実に実施するため、市域で震度5強以上を観測した場合、又は災害（災害警戒）対策本部から指令があった場合に、状況を迅速かつ的確に把握するために、市域を7地区（中学校区）に分けて、各地区に出先地区を設置する。その出先地区を防災プラネットと呼ぶ。
	法定耐用年数	減価償却費の算定に用いるために、地方公営企業法で定められた固定資産（水道管・配水施設など）の耐用年数のこと。ただし、必ずしも法定耐用年数を超えて使用できないものではない。本市では、施設の長寿命化やアセットマネジメント手法の導入により、法定耐用年数を超えて施設を有効利用しており、効率的な施設整備を実施している。
	末端給水栓	配水支管の末端と考えられる給水栓のこと。
ま	未処分利益剰余金	企業の経営活動によって発生した利益のうち、特定の用途目的を定めていないもののこと。

用語解説		説明
ら	量水器	給水装置に取付け、需要者が使用する水量を積算計量するための計量器のこと。いわゆる水道メーターのこと。
	累積欠損金	企業の経営活動によって発生した各年度の損失の累積のこと。
や	有収水量	給水した水量のうち、消火活動などに使用した水量を除いた、料金徴収の対象となった水量のこと。
	有収率	年間有収水量を年間給水量で除した数値のこと。
	用途別逓増制	使用用途（一般用、浴場用、特殊用）を基準とした、逓増制（逓増制とは使用量が増加するにしたがって料率がアップすること）をあわせた本市の料金体系のこと。
P	PC造	プレストレストコンクリート造の略称であり、コンクリートの引張力への弱さに対して、あらかじめ鋼材によって引張応力を与えることによって、コンクリートの強靱性を増し、部材厚の縮小を図ったコンクリート構造の一種である。
	PDCAサイクル	業務プロセスの管理手法の一つで、計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）という4段階の活動を繰り返し行う事で、継続的に業務を改善していく手法のこと。